

# Solan Primary School

4th grade news letter

# Venture

# Fourth

2023. Nov. 8

## ロボットサバイバル

昨日の英語の時間。

「アニマルクイズ」を出題し合う学習場面がありました。

どこに住んでいるとか、どんな特徴があるかをヒントにする問題です。

アルマジロだとかキリンだとかが出題される流れの中で、ある子がこんな問題を出しました。

He lives in Seto city!



He is very cool!

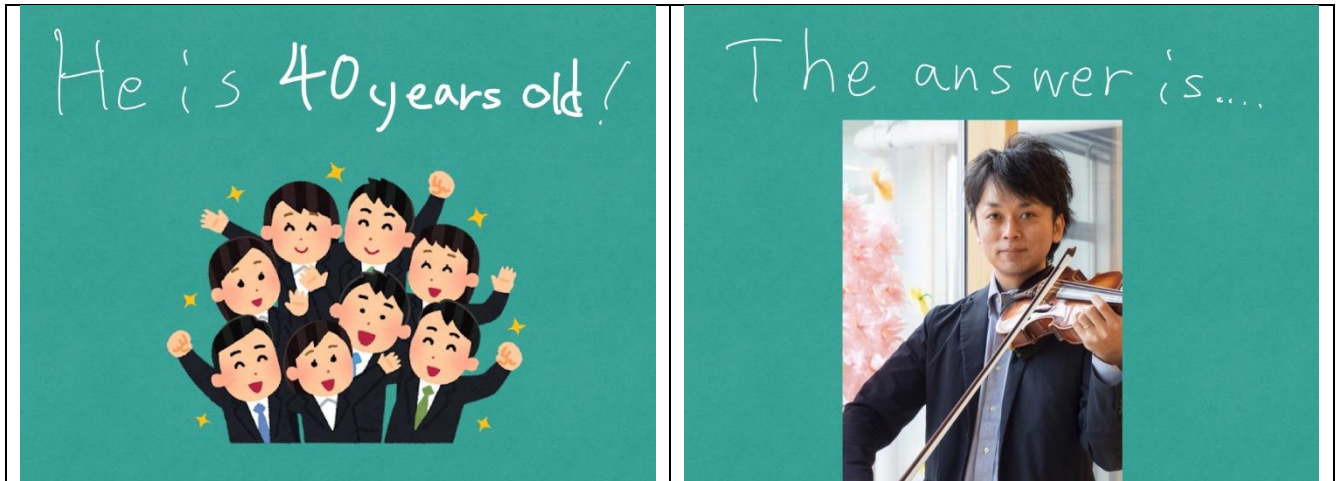


He is very Smart!



He eat his mothes  
riceball





一枚目の時点ですでに「あ〜！」という声があがり、2枚目3枚目でほとんどの子が確信に至ったようです。

確かに「動物」のたぐいではありますが、キリンやアルマジロの流れで私が出題されたので思わず笑ってしまいました。

こうした「作問」をするところでは、少なからず「その子の興味」の先が分かたりします。

「なんでアルマジロを選んだか」を突き詰めていくと、そこに探究のタネが埋まっていることがあるんですね。

そういえば今朝、マリーくんが分厚い本を読んでいたのも、思わず尋ねました。

「それって、何を読んでいるの？」

マリーくんはすかさず答えました。

「本です。」

それはそうだと聞いていた子たちから笑いが起きて、いったい何の本なのという話になったのです。

一言でいうと、「ロボットサバイバル」の本だということ。

ロボット同士の戦いの話なのかと、興味がそそられる話です。

少し付け加えて言うと、この「一言で説明」ができることも、大切な学習技能の一つですね。

「長く詳しく伝えること」と、「端的に一言で伝えること」の両方ができる人は、ほぼ例外なく説明が上手です。

アクセルの加減が自在にできるからです。

「短く言った方が分かりやすくだろうな」と思えば一言で伝えるようにし、「ここは長く説明した方がいい」と思えばいくらでも詳しく伝えられる。

こういうのが、本当の「説明上手」です。

ちなみに、先ほどの本の中身が気になったので、私は少し読ませてもらうことにしました。

ページを開いて驚きました。

なんと、全て英語だったのです。

そして、面白そうな内容だったので、アマゾンでその場で購入（ポチ）。

明日、我が家に届く予定です。

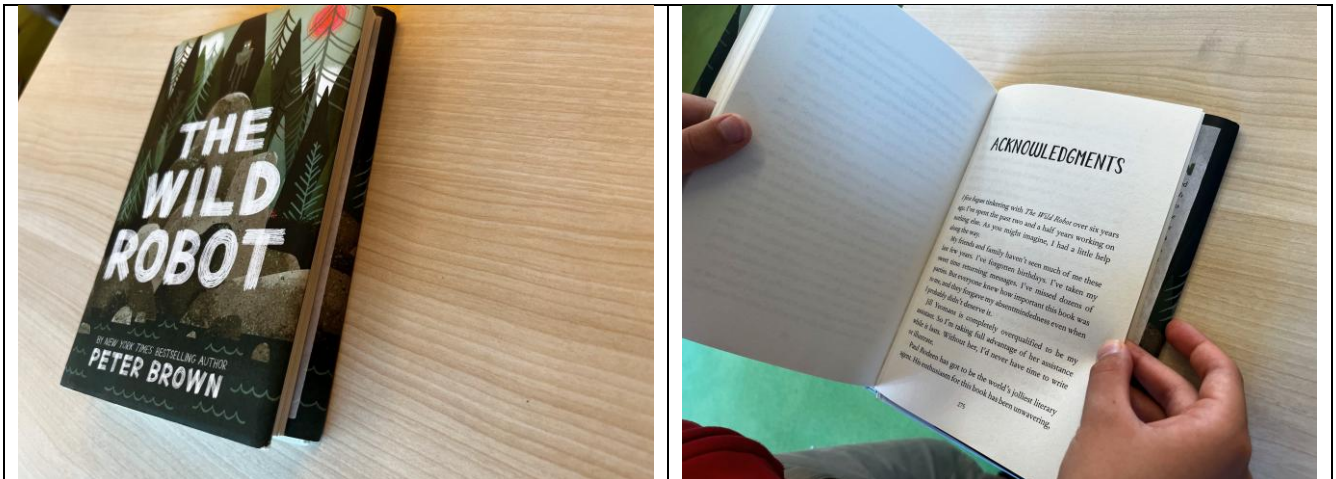
子どもたちに接するときだけでなく、何かを伝えたり届けようとするときに、「相手の関心ごとに関心を寄せる」のはとても大切なことです。

人は、自分の関心ごとに関心を寄せてもらえることが、たまらなく嬉しいものだからです。

全国の先生方や保護者の方々に話すときも、私は次のことをよく伝えます。

「子供の関心ごとに、関心を寄せてみましょう」と。

そのことが、子どもとの関係性を作る上でどれだけ好影響をもたらすかという、その効果は計り知れません。



そして、その相手の関心ごとを興味をもって見ようとしているうちに、本当に面白くなってきたりするから不思議です。

「THE WILD ROBOT」、もしよければ一緒に読んでみませんか？

☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

